

# うるま市与那城伊計「与那城伊計自治会」

集落  
部門

## 次世代への継承、地域で育むふるさとづくり (平成21年度認定)



当地区は、与勝諸島の最も東に位置し、琉球石灰岩に覆われた平坦な島である。

戦前からサトウキビ中心の農業を行っていたが、基盤整備が進んだことで作業の機械化が進み葉タバコや紅芋の栽培も増加している。また、耕土流出防止対策として、緑肥作物の栽培普及、グリーンベルトの設置を行い環境対策を推進している。自治会では、農業・漁業の保全育成を目的として、子どもたちを対象にイノー(磯)自然体験学習、地域人材活用による各種農業体験、黒糖作り、海神祭(ハーリー)を行っている。

また、200年以上の歴史をもち5年に一度開催される「伊計島招豊年祭」では、祭りの中心で男子だけで構成される伝統芸能「組踊伏山敵討」を地域の年配者から次世代の子ども達に技を受け継いでいる。

その他にも、学校と地域が連携して集落内の清掃活動や景観作物の植栽等を島をあげて行い、年配者から次世代の子ども達が一体となって地域資源の保全を図っている。

